55 肱川の鵜飼

愛媛県　大洲市

水郷のシンボルを創造しようと30年前に始められ、日本三大鵜飼の一つにまで発展。水位確保のための努力。

大洲市は愛媛県の西部に位置し、その中心部を県内一の長流肱川が流れる水郷の町である。

この肱川の清流を利用して、昭和三二年に鵜飼が始められ、今年で三〇周年を迎える。この鵜飼は、屋形船が鵜船と並んで川下りをしながら楽しむという独特の方法であり、鵜飼の期間中地域の住民が屋形船の船頭を勤めるなど市民の努力により着実に発展し、今では日本三大鵜飼の一つに数えられるまでになった。

また、国が肱川の護岸基礎の先掘防止などを目的に、下流に床止を設置した際には、市が一部を負担して床止中央の水通し部に可動堰を設置し、鵜飼に必要な水位を確保している。

毎年シーズン中の夜ともなれば、肱川橋のあたりを紅提燈をかかげた多くの屋形船が行きかい、水郷大洲ならではの光景が繰りひろげられる。

データボード55

① 愛媛県大洲市肱川
② 大洲市役所　☎0893-24-2111
③ 延長約2km
⑤ 川まつり花火大会、筏流し大会、水天宮花火大会